

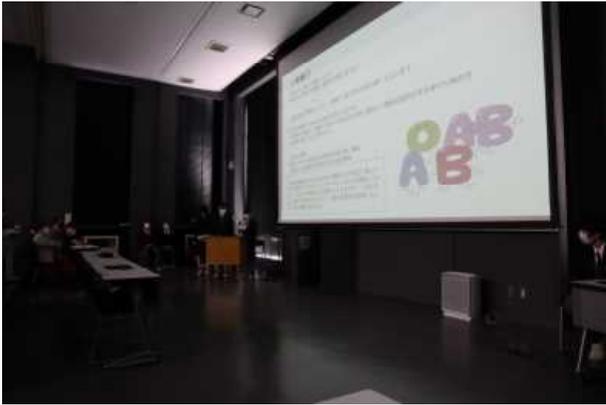
令和4年度・校内探究発表会報告（2/22）

令和5年2月22日、2学年普通科の探究発表会を視聴覚室で開催しました。茨城大学人文学部の西野由希子教授と東洋大学工学部の大辻久教授を助言者としてお迎えし、ポスターセッションと口頭セッションとに分かれて、一年間の主体的に進めてきた探究の成果を発表しました。6時間目には、普通科の1年生も参加、次年度への弾みをつけました。



上は、ポスターセッションの様子です。自分たちが作成したポスターの前で、通りかかった人たちに、わかりやすく説明しています。質問にも丁寧に答えていました。





上の写真は、視聴覚室での口頭セッションの様です。中でも、右下の写真は、HP上でも何度もご紹介した、「DEEPな土浦を楽しもうスタンプラリー」を企画した4人組の Charming Tsuchiura班と、コラボしてくださった若田部さんです。若田部さんはこの日も駆けつけてくださり、土浦班以外の発表にも温かいお言葉をかけてくださいました。なお、若田部さん個人運営のサイト「日本一の湖のほとりにある街の話」内でも、今回の探究発表会のことを取り上げてくださっています。地元の人でも知らないような珠玉の情報が、若田部さんの優しく繊細なタッチのイラストとともに、丁寧な文章で紹介されています。ぜひのぞいてみてください！ https://no1-lake.jp/news/2023_02_22/

～以下は、生徒たちの感想です。～

「何も用意されていない状態からみんなで協力して一つのものについて探究するという時間はとても有意義なものだった」

「色々なテーマの探究の発表に触れて、驚きもあり、とてもワクワクした。」

「失敗をしたが、それも次に生かせるよい体験なのだと知った。」

「新しいことを学ぶ、新しい人と出会う、良い機会となった。ボランティアに参加したり、外部の講座に参加したり、探究していなければできなかったことだった。皆で撮り組んだからこそ、勇気も出だし、校外で友だちと積極的に行動することを新鮮に感じ、自己肯定感や楽しさを得ることができた。自分たちの活動に興味を示し、協力して下さる方々がいて、多くの方々に支えていただいていることを再確認した。」

(文責：橋内敏江)